



平成31年3月卒業生の就職活動がスタート 【鹿児島県立短期大学】

12月6日の「就職活動説明会」から平成31年3月卒業予定学生の就職活動がスタートした。

○「就職活動説明会」の開催

本格的な就職活動を前に、学生自治会と学生課が合同で開催するもので、自治会役員や内定した先輩から就職活動全般のアドバイスや実際の就活体験などを学生目線で聞くことができた。

就活の実体験・生の声に、参加した学生は一つ一つの話に耳を傾け、熱心にメモを取っていた。



産学コーディネーターによる説明

○「就職ナビ登録セミナー」の開催

12月9日、マイナビとリクナビの担当者を講師に迎え、午前・午後の2回に分けてセミナーを開催した。

講師からは、①秋冬のインターンシップに参加しよう、②「SPI性格検査」で自己分析から始めよう、③適性検査の準備を行なうなどの指導がなされた。



ナビ講師による説明

○「キャリアデザイン（第4期）」の開催

1月24日、自分の人生（キャリア）を主体的に創造（デザイン）するために、「生き方」「働き方」「学生生活の送り方」「人間関係」について、役立つ知識、考え方、能力を身に付けることを目指して開催した。

産学コーディネーターによる企業訪問を踏まえた説明や学生課から就活において心がけておくべき点などについて説明がなされた。



産学コーディネーターによる講演

○「進路状況保護者説明会」の開催

2月4日、本学に保護者を招いて、進路選択に関する説明会を開催した。



就職支援担当者による説明

出席された保護者は最近の就職環境、本学の就職指導の現状や就活のスケジュールなどの説明に熱心に耳を傾けていた。

学生課では就職支援のため、1年を通じて挨拶やお辞儀の練習をする「マナー指導」、自分の魅力を最大限に表現するための「履歴書添削」、態度や言葉遣いを指導する「面接指導」をマンツーマンで何度でも受けられるよう体制作りに努めている。

また、就職内定率の一層の向上を図るため、年5回程度就職活動「個別面談」を行い、学生に寄り添った就職指導にも努めている。

これからも、ひとりでも多くの学生が自分の希望する就職先に勤められるように学生・教職員が一体となって、就職活動を全面的にバックアップしていくことにしている。

第一工業大学の社会連携活動

第一工業大学は、地域に開かれたものづくり大学として、農商工連携や高大連携に取り組んでいる。2015年の霧島市との包括連携協定を皮切りに、JA あいら、霧島市との三者による包括連携協定、国分中央高校、隼人工業高校との高大連携協定を締結し、共同事業や人材交流を活発に行っている。

○公開講座

「第2・第4土曜日は、第一工大の公開講座で最新科学のシャワーを浴びよう」とし、本学教員による最新の科学技術や市民のためになる講座を無料で開講。講座はビデオ収録し、九州ケーブルテレビネットワークにて毎日数回放送中。

○山田橋プロジェクト

大正ロマン期の意匠を伝えるコンクリート橋「山田橋」撤去にともなう地域土木遺産の記憶の継承と撤去後の活性化を企図して、地域の産学官を巻き込んださまざまなイベントをCOC+の活動として行った。「第一工大生による『歴史紙芝居山田橋くん』上演」「山田小学校生徒によるランタンフェス」「山田橋ベンチリノベプロジェクト」「山田橋思い出テラス公園プロジェクト」など、地域住民の子供からお年寄りまでを巻き込んだ一大プロジェクトに発展している。

○平熊地域ウォーキングコース

「何もないと思っている地域の価値を掘り起こす」ことをコンセプトに第一工大のCOC+関連講

座である「地域貢献演習」のPBL授業として、平熊地域の住民と協働して、平熊の魅力マップや地域特性を活かしたウォーキングコースづくりを行っている。今後、地域住民と学生による地域おこしプラットフォームづくりへと発展させる予定。

○六次産業化フォーラム

地域農業と食に関する人材育成を目指した「植物バイオシステムコース」新設にともない、JA あいら、霧島市と協働してフォーラムを毎年開催。「霧島の食文化を世界に発信する」ことを目的に「霧島ガストロノミー推進協議会」も発足、「霧島ブランド」の確立に向け、産学官金労言のオール霧島体制で地方創生にチャレンジしている。

○第一工大地域企業説明会・研究会

「地元への就職促進と郷土愛の醸成」を目的にCOC+事業として地元企業研究会（2年生向け、毎月1回、霧島市と共催）、地元企業説明会（3年生向け、年1回、本学体育館で開催）を開催。県内や近隣市町村の企業への理解を深めている。また、ここから、COC+関連キャリアプログラム「地域企業インターンシップ」（選択科目・2単位）につなげ、県内企業へのインターンシップ参加率の向上を図っている。

今後も「地域に愛され、必要とされる大学」を目指し、学長のリーダーシップの下、小さな大学の機動性を活かし、チャレンジし続けて参ります。



山田橋ランタンフェス



山田小学校生徒によるランタンづくり



平熊地域ウォーキングコース現地調査